

# 事務事業チェックシート

事務事業No 23 事業名 防犯灯設置推進事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		地域安全費	
	大事業		地域安全事業	
	事項		防犯灯関係補助事業	

[長期総合計画]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	3	地域安全の推進
施策	2	防犯対策の推進
基本方針	3	防犯環境の整備

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	地域安全課	小西 良則 (435-1005)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		事業内容					
事業概要	犯罪防止と交通安全のために、自治会等が維持管理している防犯灯について、設置（修繕）及び電気料に対して補助金を支出しています。		各地区からの申請に対し、防犯灯設置費補助金及び電気料補助金（9月分の電気料を基準額とし、その30分の10を補助）を補助しています。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		防犯灯設置費補助事業 防犯灯電気料補助事業	防犯灯設置費補助事業 防犯灯電気料補助事業	防犯灯設置費補助事業 防犯灯電気料補助事業	防犯灯設置費補助事業 防犯灯電気料補助事業	防犯灯設置費補助事業 防犯灯電気料補助事業	

## 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	46,384	49,937	55,119	53,631	56,599	52,436	56,873		56,873	
伸び率 (%)	-	-	18.8%		2.7%		0.5%		0.0%	
人件費	常勤職員	4,350	9,185	9,185	9,052	10,042	11,650	11,869	11,869	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	4,350	9,185	9,185	9,052	10,042	11,650	11,869	11,869	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	46,384	49,937	55,119	53,631	56,599	52,436	56,873		56,873	
所要人数	常勤職員	0.58	1.21	1.21	1.22	1.35	1.53	1.56	1.56	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
主な予算内訳		防犯灯設置費補助金 23,258千円		防犯灯電気料補助金 33,615千円						

## 3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	補助対象防犯灯数					年度目標値	31,200	31,600	32,000	32,400	32,800
						実績値	31,215	31,684	31,977		
	単位	灯	全体目標値	32,800	全体目標達成度	96.0%	年度別達成度	100.0%	100.2%	99.9%	
							年度目標値				
成果指標	刑法犯認知件数（1～12月）					年度目標値	4,800	4,600	4,400	4,200	4,000
						実績値	4,269	4,019	3,588		
	単位	件	全体目標値	4,000	全体目標達成度	100.5%	年度別達成度	88.9%	87.3%	81.5%	
							年度目標値				
						実績値					
						年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>市民からは、依然、夜間における市民の交通安全と犯罪の防止や不安解消のための防犯灯設置のニーズが高く、安心安全な明るく住みよいまちづくりを推進していくためにも、必要性は十分ある。 また、自治会からの防犯灯設置ニーズが非常に高く、中長期的な持続性をもって行うべきである。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>平成24年度から防犯灯設置については、長寿命化及び省エネルギー・環境保全の観点からLED化を促進し、電気料を削減できるように進めている。</p>